

上小だより

令和7年12月24日
文責 校長 山本祥博

育成をめざす3つの力「思いやりの心・がんばりぬく力・伝える力」

大きな成長が見られた2学期でした

「2学期にできるようになったこと、伸びたと思うところはどこですか？」と子供達に尋ねました。ある児童は「かけ算九九が言えるようになりました。」と答え、またある児童は「持久走のタイムが伸びました。」と話してくれました。先生からも「受け身だった姿勢が『自分たちでこんなことをやってみよう』という言葉や姿が見られるようになりました。」「授業での集中力が格段に上がりました。」という言葉が返ってきました。

今日で2学期も終わります。まずは、この2学期も大きな事故やけがなくすべての子供たちが元気に過ごせたことをありがたく、うれしく思います。心から感謝いたします。2学期の始業式の時に「2学期はたくさんの行事や楽しいことが待っています。チャレンジする心を忘れず、がんばりぬいてください。」と伝えました。運動会、持久走大会、芋ほり、芸術鑑賞、各学年の校外学習、たくさんの方々に学校に招いての特別授業等、まさに「見て、聴いて、考えて、活動して学んだ2学期」でした。

チャレンジするからこそ目標達成のために努力もし、困難を乗り越え、喜びを味わい、それが自信となります。大きな成長が見られた2学期でした。

今日の終業式ではみんなの「がんばりぬく姿」を紹介しながら以下の2つのことを約束しました。

- 1 命を大切に過ごす。
- 2 新しい年の目標を立てる。

明日から冬休みに入ります。命を大切に、何か一つ1年の目標を立て、家族で伝え合われてはいかがでしょうか。

今年1年大変お世話になりました。来年もまた健康で幸せな1年になりますように願っております。

門松を作っていただきました。

12月21日(日)に6年生と6年生保護者の皆様で校門前に門松を作っていただきました。門松は年神様を迎えるための目印とされ、長寿や繁栄などの意味が込められていると聞きます。よき新年が迎えられそうです。参加していただきました6年生と6年生保護者の皆様ありがとうございました。

